

## 平成16年度 第3回（平成16年9月7日）図書館運営協議会 会議要旨

### 1. 出席者

運営協議会委員委員（7名）

小杉山会長・三輪委員・山田委員・奥津委員・埜崎委員・日高委員・山本委員

図書館側委員（3名）

鹿島中央図書館長・広田奉仕係長・坂井視聴覚係長

図書館事務局

佐藤管理係長・秋山管理係主査・東主任主事

### 2. 場所 中央図書館大会議室

### 3. 開会

#### 【小杉山会長】

ただいまから平成16年度第3回図書館運営協議会を開催いたします。本日の議題は、報告事項1件と協議事項2件です。

はじめに、報告事項「新宿区第4次実施計画（中間のまとめ）・子ども読書活動の推進」について、事務局から説明をお願いします。

#### 【佐藤管理係長】

平成15年度に策定した後期基本計画に基づき、区では、平成17年度～19年度を計画期間とする新たな実施計画（第四次実施計画）の策定を予定しています。第四次実施計画「中間のまとめ」の概要を8月25日号の広報に掲載し、9月30日までパブリックコメントを実施しております。

この中で、「子ども読書活動の推進」においては、次の記載があります。「平成17年度に、区立中央図書館児童室を改修し、『子ども図書館』」として整備します。開設後は、区内の各地区図書館の児童サービスを総合的に支援するほか、ボランティアの育成や学校図書館支援などの機能を発揮します。

#### 【奥津委員】

児童室を子ども図書館にすると、どのように変わるのでしょうか。江東区の「白河子ども図書館」を見に行きましたが独立した子ども図書館でした。子ども図書館になると今までとどのように変わるのか詳細を説明してください。トイレも子どもが使い易いように改修をお願いします。

**【佐藤管理係長】**

お話室に防音装置を設け、外に音が漏れないようにします。現在はヤングアダルトと児童図書が混在していますが、これも分けるようにします。現在は情報ルームや喫煙室として使用している部分も含め、中央図書館の2階は子ども図書館として利用する予定です。トイレも改修の方向で検討しています。

**【三輪委員】**

ヤングアダルトサービスも子ども図書館に入れるのでしょうか？

**【佐藤管理係長】**

鶴巻図書館でヤングアダルトコーナーの充実を実験的に行っています。一般室の一角に入れるのが適当かどうか検討中です。

**【三輪委員】**

子ども図書館にヤングアダルトを入れるのは疑問があります。高校生が子ども図書館に来館するとは思えません。

**【小杉山会長】**

報告事項については以上で終了させていただきます。次に協議事項に移ります。

①視聴覚サービスについて

②ヤングアダルトサービスについて

③大学図書館との連携について

以上3点です。

はじめに、視聴覚サービスについて、事務局から説明をお願いします。

**【坂井委員】**

「視聴覚サービスについて」資料の説明

**【日高委員】**

カセットテープについて。戸山図書館には、かなりの数のカセットテープがありますが、貸出中止になるのでしょうか？

**【坂井委員】**

劣化等が進み、資料数が減少した段階で貸出状況等を見ながら検討することになります。

**【広田委員】**

戸山図書館のカセットテープは、本来は視覚障害者用です。

**【奥津委員】**

視覚障害者用のカセットテープは音楽だけでしょうか？図書の録音はないのですか。

**【林田委員】**

戸山図書館で行っている視覚障害者サービスは、市販のカセットテープ資料以外に、録音図書の作製・貸出サービスがあります。これは、視覚障害者からリクエストを受け、図書館が著作権者の承諾を受けて、音訳ボランティアに作製を依頼するものです。

**【鹿島委員】**

視覚障害者サービスの登録者は106人います。対面朗読や録音図書などカセットテープの貸出も行っています。一つの作品をテープに吹き込むのは大変な労力と聞いています。平成15年度は8点46巻の録音図書を作製しました。主に録音は声の図書館研究会の25名のボランティアが担当しています。内容チェックは職員が行います。

**【小杉山会長】**

国会図書館では、視聴覚資料はどうしているのでしょうか。

**【坂井委員】**

国会図書館の視聴覚資料の保存方法については、温度管理を含め、かなりしっかりした管理をしていると聞いています。

**【鹿島委員】**

日本の映像資料の保存等については、二重構造があると言われていています。国立・都道府県立図書館における視聴覚資料と別に設置のフィルム・ライブラリーです。国立近代美術館では、映画フィルムの保存を行っています。国レベルでは、保存は行われています。欧米でも活字から電子的な記録へ移ってきています。

**【奥津委員】**

子どもを送り出した後の時間に映画会を行ってほしいです。

**【埜崎委員】**

映画上映会の参加者が増えているのは、やりがいがあると思います。

**【山本委員】**

DVD貸出数が増えているとのことですが、町田市の図書館に行ったとき、DVDを視聴できるスペースがありました。新宿区立図書館でも検討していただきたい。

**【坂井委員】**

現状では視聴スペースの設置は難しい。四谷図書館にはビデオ視聴のスペースはありますが、専用機は高価です。

**【鹿島委員】**

ご家庭にゲーム機のプレステーション2があれば、専用機でなくてもDVDは見ることができます。

**【佐藤管理係長】**

例えば2950円のDVDを図書館で購入しようとする、市価の5～6倍はします。著作権法上止むを得ない。市販されているものは個人で見ることが前提ですが、貸出対象のものは5～6倍の価格になります。四谷図書館のビデオ視聴コーナーは何度も機械が壊されています。利用者の使い方がかなり荒いようです。

**【三輪委員】**

8mmフィルムの貸出の実績がないので、除くということですが。文部科学省の人に聞くと、8mm時代の方が質が高かったようです。安易に録画しない

ので慎重に計画を練ってつくられている。いいものを発掘して、映画会でも上映していただきたい。新しいものに対応するだけがいいのでしょうか。

もう1点、LPについて。LPで発売されていたもので、CD化されているのは売れるものだけです。CD化されていないものでも、ニーズは確実にあるのではないのでしょうか。

#### 【坂井委員】

LPについても、今すぐ貸出を中止することは考えていません。DVDも全部が全部買えるわけではなく、著作権の関係で買えないものも多くあります。日本図書館協会で、著作権法上の処理をしてもらったものを購入しています。ビデオよりDVDのほうが、点数が多くなってきています。

#### 【鹿島委員】

今後は、ビデオからDVDにシフトしていくほうがいいと思います。初期のビデオ機器も大変高価でしたが、高性能・低価格化により家庭に急速に普及しました。DVDも技術革新の中でそうなると思います。

#### 【小杉山会長】

DVDプレイヤー、プロジェクターの貸出も考えなければいけないのか。

#### 【坂井委員】

団体貸出をするDVDについては、16mmの代替となっていくものです。

DVDで上映するには、プレイヤーとプロジェクターが必要です。現状では、多くの団体が所有していないと考えます。しかし、しばらくは16mmフィルムが主流のままで、団体貸出用のDVDの充実をしばらく待つ必要があります。ビデオプロジェクターは年1回点検してもらっています。昔に比べてプロジェクターも安くなり、性能もよくなってきています。

#### 【奥津委員】

先ほどDVDの値段が市価の5倍になるという話が出ましたが、古くていいもの、ビデオ屋にないようなもの、良質な作品を揃えてほしい。

#### 【坂井委員】

ビデオテープの貸出についても約1割は小学生以下であり、選定については、教育面も考慮しています。今後も委員のご指摘のような優れたものを収集してまいります。

**【鹿島委員】**

選定の基準もあり、図書館として保有すべきものを選定しています。視聴覚係だけでなく地区館職員も含めて選定しています。

**【小杉山会長】**

次に「ヤングアダルトサービス」について協議を行います。

**【秋山管理係主査】**

ヤングアダルトサービスについて資料の説明

**【奥津委員】**

私の上の子どもが12歳、小学6年生。ヤングアダルトに関心が向いている。中央図書館ではヤングアダルトの場所がわかりにくい。大人の本と子どもの本の上にヤングアダルトコーナーを設置し、両方にも行ったり来たりできるようにするとよい。本の選び方も難しいと思うが、子どもの関心も広がってきているので。

**【広田委員】**

ヤングアダルトコーナーは、一番見にくいところにあるので、2階の入口に近いところに設置することを検討している。

**【小杉山会長】**

新宿区は6・3制を崩すことは検討していますか。

**【山田委員】**

今のところは検討していません。

私は小学校ですが、中学校学校図書館研究会というものがある。中学校の学習内容はずいぶん広い。地域図書館との連携を広めていこうという。地域の図書館との連携を強めていこうという。学校図書館の意見を公立図書館に反映させていきたい。

**【広田委員】**

学校図書館の学校の先生と図書館の連携だが、去年は研修という形でやらせてもらった。もう少し時間をいただきたい。学校の先生と連携を取りながら資料を収集していきたい。

### 【三輪委員】

ヤングアダルトの年齢が13～18歳でいいのか。アメリカの基準をそのまま当てはめていないか。ヤングであるという自覚はもっと年長まで持っています。選書に当たっては力量が問われます。若者の意見を聞くことも大事だが、若い人が気づかないが大事な本もあるのではないか。フリーターも増大して問題となっているが、フリーターである続けることを考えるような本もあっていい。

### 【広田委員】

児童担当だけでなく、一般の図書担当もヤングアダルトの選書に入れたいと考えています。

### 【奥津委員】

ヤングアダルトコーナーの設置で、居場所がない中学生に居場所を提供するのがいい。

### 【小杉山会長】

最後に、「大学図書館との連携について」事務局から資料の説明をお願いします。

### 【秋山管理係主査】

大学図書館との連携について資料説明

東京富士大学と新宿区は、大学図書館と区立図書館が相互協力を行うことで合意し、平成15年12月2日覚書に調印しました。これにより、平成16年1月20日から新宿区民（社会人）が東京富士大学図書館を利用できるようになりました。

### 【日高委員】

東京富士大学の利用について、特定の研究事項について論文を見せるとか、そういう証明が必要なのか。

### 【佐藤管理係長】

経済・経営学の大学なので、そういった図書が中心になる。申込時に目的を伺っている。現在、他大学との連携についても調整を行っているところである。

大学との連携は、大学図書館だけではなく、大学の教授会や本部との手続きも必要となると聞いております。

**【山本委員】**

登録者は13名だが、希望者はもっと多いのか。審査で落ちた人はいるのか。

**【佐藤管理係長】**

そういう人はいません。窓口にみえた方は、すべて大学に申込されているようです。もうひとつの、大学図書館への紹介状発行方式は理解いただけますか。これは、新宿区立図書館に登録している人が、どうしてもそこ（大学図書館）にしかない場合、紹介しています。原子物理学に関するものとか、高度な資料が多い。

**【小杉山会長】**

新宿区と東京富士大学で相互に検索できますか。

**【佐藤管理係長】**

相互検索はできません。システムが全く異なるし、今後も考えていません。ただ、登録前に東京富士大学図書館を見学することができます。

**【三輪委員】**

東京富士大学図書館の利用は不便です。直接借りに行けばいいと思った。

**【佐藤管理係長】**

利用申請者が区内在住の社会人かどうか、区立図書館が事前確認を行った上で、東京富士大学図書館の登録申請を行うシステムです。

**【鹿島委員】**

在勤者の方へ拡大することは今後の課題です。少子化で大学経営も厳しくなる中で、大学も地域と連携しているかどうか、地域が大学を評価する時代になっています。他大学との連携も今後は進めたい。

**【小杉山会長】**

それでは第3回図書館運営協議会を閉会します。

次回は10月5日（水）10：30～中町図書館で開催予定です。終了後、中町図書館と鶴巻図書館の見学も行います。